

(明治三十三年) 五月八日 第三種郵便物認可 (毎月四日十四日廿四日三回發行)

縣報

第拾八號

明治三十三年十月四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第六十六號

本年九月當縣令第六十四號廢止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十三年九月廿五日

和歌山縣令第六十六號ノ參照

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣令第六十七號
明治三十三年九月和歌山縣令第六十四號ハ炭疽熱發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來停止ノ件
小學校教員檢定及免許ニ關スル細則左ノ通相定ム

明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事 小倉久

小學校教員檢定及免許ニ關スル細則

第一條 小學校教員試驗檢定施行ノ期日及試驗場ハ一ヶ月前ニ於テ之ヲ告示スベシ
第二條 檢定ヲ請ハントスルモノハ別紙第一號乃至第三號書式ニ據リ檢定願書ニ履歷書及

身體檢査書ヲ添ヘ所管郡市長ヲ經テ知事ニ差出スベシ
試驗檢定ヲ出願シタルモノニシテ試驗ニ缺席スルコト二回以上ニ及プトキハ願書ノ効力

ヲ失フモノトス

第三條 檢定ノ合格及不合格ハ所管郡市長チ經テ之ヲ出願者ニ通知スベシ

第四條 檢定手數料ヲ定ムルコト左ノ如シ

小學校本科正准教員

金七拾五錢

尋常小學校本科正准教員

金五拾錢

小學校專科正教員

金五拾錢

第五條 檢定手數料ハ第二條ノ願書ト同時ニ縣金庫ニ納付スベシ

前項ニヨリ一旦納付シタル手數料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還附セズ

第六條 郡長ニ於テ檢定手數料ヲ納入シタルトキハ願書欄外ニ手數料納入濟ノ旨ヲ記載シ
遲滯ナク知事ニ差出スベシ

第七條 明治三十三年八月文部省令第十四號第百十三條ニ依リ某科目ニ關シ其ノ試験ヲ關

クコトヲ得ベキ學科目ハ本人ノ出願ニ依リ檢定委員會ノ評決チ經テ之ヲ省略スルコトヲ得
前項ノ願書ハ第四號書式ニ依ルベシ

第八條 無試験檢定出願者ニシテ志望ノ教員資格ニ合格セスト雖モ自餘ノ教員タルニ適ス
ト認ムルトキハ相當ノ免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ

前項ノ免許狀ヲ受ケントスル者ハ檢定出願ノ際第五號書式ノ副願書ヲ差出スベシ

第九條 無試験檢定出願者ニシテ免許狀ヲ授與スルニ至ラサルモ某科目ノ合格ヲ認ムルト
キハ該科目ニ對スル合格証明書ヲ授與スルコトアルベシ此ノ場合ニアリテハ自餘ノ科目

ニ就キ試験檢定ヲ出願スルコトヲ得

第十條 試験檢定出願者ニシテ免許狀ヲ授與スルニ至ラザルモ某科目ニ於テ相當ノ成績ヲ得タルトキハ該科目ニ對スル合格証明書ヲ授與スルコトアルベシ此場合ニアリテハ自餘ノ科目ニ就キ更ニ試験檢定ヲ出願スルコトヲ得

前項ニ據リ更ニ試験檢定ヲ出願スル場合ト雖檢定願書ノ様式及添付書類ハ仍第二條第一項ノ規定ニ據ルヘシ

第十一條 教員免許狀ヲ有スル者其氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シ書換若クハ再渡

ヲ出願セントスル者ハ手数料トシテ金五拾錢ヲ縣金庫ニ納付スベシ

第十二條 免許狀ノ書式左ノ如シ

師範學校卒業生ニ與フルモノ

小學校教員免許狀

何學校卒業生

族籍

氏

生年
月

右ハ和歌山縣管内ニ於テ小學校本科(尋常小學校本科)正教員タルコトヲ免許ス

年
月
日

番
號

和歌山縣知事位勳爵氏名 印

師範學校卒業生ニ非ザルモノニ與フルモノ

小學校教員免許狀

旅籍

何科何科
何科何科

氏名

生年月

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ和歌山縣管内ニ於テ小學校本科正教員(小學校准教員)

(尋常小學校本科正教員)(尋常小學校准教員)(小學校專科正教員)タルコトヲ免許ス

年 月 日

番 號

和歌山縣知事位勳爵氏名

印

第一號書式(用紙半紙)

小學校教員檢定願

私儀和歌山縣内ニ於テ小學校(尋常小學校)本科正(准)教員(小學校專科何々科正教員)志願ニ候間試験檢定(無試験檢定)相受度別紙履歷書并ニ醫師身体檢査書相添此段相願候也

何府縣何郡(市)何町(村)大字何々何番地居住何府縣

華士族平民戸主(何誰何男(女)等

年 月 日

氏名

名

印

和歌山縣知事宛

前書何ノ誰年齡及賞罰等ニ關スル件調査候處別紙履歷書ノ通相違無之依テ証明候也

何府縣何郡町村長(又ハ市長)

氏名

名

印

第二號書式(用紙半紙)

履歷書

現在ノ職務及俸給又ハ職業等

族籍

氏

名

生年月日

免許狀及証書

一、何々免許狀(何年何月何日受領、何府縣又ハ何々)

一、何々卒業証書(何學校又ハ何々)

一、何々証書(同上)

(免許狀及証書寫ハ別紙ニ認ムベシ)

學業

一、年月日何學校ニ入學、年月日何科卒業

一、年月日何々ニ就キ何科修業又ハ講習シ年月日修了

業務

一、年月日何府縣何小學校訓導ニ任セラレ月俸何圓給與セラル

一、年月日月俸何圓給與

一、年月日何官職拜命或ハ何業ニ從事シ年月日依願免官又ハ退職或ハ廢業又ハ現在職從事等合計小學校訓導(准訓導等)ノ職ニアルコト何年何ケ月、何々ノ職ニアルコト何年何ケ月

賞 罰

一、年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニヨリ何々ノ賞與

一、年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニヨリ何々ノ罰ヲ受ク

右之通相違無之候也

年月日

右 氏 名 印

第三號書式(用紙半紙)

身体検査書

族 籍

氏 名 生年月

右身体ヲ検査スルニ各部完全ニシテ疾病又ハ畸形ナキモノニ相違無之候也

一、眼ヲ缺キ一肢ヲ損スル等其ノ他學校教員タル職務ヲ行フニ妨アルモノ又ハ体操ヲナ

スニ差支アルモノト認メタルトキハ其旨ヲ記スベシ

年月日

公(私)立何病院醫又ハ開業醫師 氏 名 印

第四號書式(用紙半紙)

試験檢定科目省除願

何々學校卒業生
何々免許狀所有

氏 名

私儀今般小學校(尋常小學校)本(專)科正(准)教員試験檢定出願仕候付相當ノ學科御省除
被成下度此段相願候也

年月日

和歌山縣知事宛

右 氏 名 印

第五號書式(用紙半紙)

副 願

私儀今般小學校本(專科(尋常小學校本科)正教員無試験檢定出願仕候處檢定ノ上右資格ニ對スル免許狀御下附不相成候節ハ御再查ノ上相當免許狀御下附被成下度此段副願候也

年月日

氏 名 印

和歌山縣知事宛

第十三條 明治二十六年十二月和歌山縣令第百十五號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

明治二十六年和歌山縣令第百十五號ハ小學校教員檢定ニ關スル細則ナリ

●和歌山縣令第六十八號

小學校長及教員任用解職等ニ關スル細則左ノ通相定ム

明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事 小 倉 久

小學校長及教員任用解職等ニ關スル細則

第一條 郡市長ニ於テ市町村立小學校教員ノ任用ヲ申請スルトキハ現職名、俸給額、氏名、免許狀ノ種類、任用スヘキ學校名、職名及俸給支給額ニ關スル意見書ヲ具シ進達スヘシ

第二條

他ノ郡市内ニ在職スル小學校教員ノ轉任ヲ申請セントスルトキハ先ツ其所管郡市長ニ照會シテ承認ヲ求ムベシ

前項ニ依リ轉任ノ承認ヲナシタル郡市長ハ同時ニ其事由ヲ具シ後任者ヲ知事ニ推薦シ又

ハ後任者ニ關スル意見ヲ開申スヘシ

同一ノ郡市内ニ於テ轉任ノ申請ヲナサントスルトキハ其後任者ト同時ニ申請シ又ハ後任者ニ關スル意見ヲ開申スヘシ

第三條

市町村立小學校校長ハ郡市長ニ於テ當該小學校正教員中適任ト認ムルモノニ就キ意見ヲ開申スヘシ

第四條

市町村立小學校教員ノ休職退職ヲ命スヘキ場合アルトキ若クハ正當ノ理由ニ基キ退職ヲ願出タルモノアルトキハ郡市長ハ其ノ事實ヲ詳查シ意見ヲ開申スベシ

第五條

市町村立小學校教員ノ増俸ヲ要スルトキハ郡市長ヨリ其ノ意見ヲ開申スヘシ但明治三十年勅令第二號第二條第二項ニ依リ義務額ヲ超エテ支出スルノ必要アリト認ムルトキハ市參事會又ハ町村長ノ意見書添付スベシ

第六條

市町村立小學校ニ專科正教員又ハ補助教授スル教員ノ任用ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ其ノ俸給額ニ關スル市參事會又ハ町村長ノ意見書ヲ添付シテ開申スヘシ其ノ増給

ヲ要スルトキ亦同シ但本條ニ依リ一旦定マリタル俸給額以內ニ於テ更ニ申請スルトキハ意見書ノ添附ヲ要セス

第七條

休職ヲ命セラレタル市町村立小學校正教員ニシテ其ノ休職ノ期限滿ツルトキハ郡

市長ニ於テ直ニ開申スヘシ

第八條 市町村立幼稚園長保母及盲聾學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校教員任用解職ニ關シテハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第九條 私立小學校ニ於テ學校長及教員ヲ採用セントスルトキハ履歷書ヲ添ヘ知事ノ認可

ヲ受クヘク之ヲ解職スルトキハ設立者ヨリ郡市長ヲ經由シテ届出ツヘシ
第十條 明治三十年三月和歌山縣令第二十八號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

● 明治三十年和歌山縣令第二十八號ハ小學校長及教員任用解職其ノ他進退ニ關スル細則ナリ
和歌山縣令第六十九號

小學校長及教員ノ職務及服務細則左ノ通相定ム
明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事

小 倉 久

小學校長及教員ノ職務及服務細則

第一條 學校長及教員ハ明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第五章第二節ノ規程及本細則ノ規定ニ從ヒ其職務ニ服スベシ

第二條 學校長ノ整理スベキ校務概テ左ノ如シ

一 校地及校舎ノ保管ニ關スル事項

二 校具ノ整備及其保管ニ關スル事項

三 消耗品ノ使用ニ關スル事項

四、令達文書及諸帳簿ノ整頓保管ニ關スル事項

五、教授ノ分擔時間割及教案等ニ關スル事項

六、學校ノ風紀ニ關スル事項

七、職員ノ勤惰監督ニ關スル事項

八、學校衛生ニ關スル事項

九、其他法律命令ノ規定ニ依リ處理スベキ事項

第三條 教員ハ學校長ノ指揮ニ從ヒ其ノ職務ニ服スヘシ

第四條 學校長ハ校務ヲ整理スル爲メ教員ニ便宜事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第五條 學校長及教員ハ毎日規定ノ時限前ニ出務シ終業時間後翌日ノ教授準備作文習字等

ノ添削訂正諸帳簿ノ整理其ノ他必要ノ事務ヲ終ルニアラザレバ退出スベカラズ

第六條 學校長及教員ハ學校以外ニ於テモ常ニ兒童ノ監護及訓練ニ注意スヘシ

第七條 御影ヲ拜戴シ又ハ模寫シタル御影ヲ奉藏シタル學校若クハ多級學校ニ於テハ職員

交互宿直スベシ但特別ノ事情アルキハ市ニ在リテハ知事町村ニアリテハ郡長ノ許可ヲ受

ケ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第八條 學校長及教員ニシテ學校所在ノ市町村以外ニ居住セントスルトキハ豫メ期限ヲ定

メ郡市長ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 學校長及教員任命ノ辭令ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ出發赴任シ着任ノ上ハ直ニ

郡市長ニ届出ヅベシ若シ疾病事故ニ由リ其期日内ニ出發シ難キ場合ニ於テハ其ノ旨豫メ

赴任先ノ郡市長ニ届出ツヘシ

第十條 學校長轉任休職又ハ退職ノ命ヲ受ケタルトキハ後任者ニ事務ヲ引繼キ連署ヲ以テ市町村長ニ報告スベシ若シ後任者未定又ハ着任遅延等ノトキハ特別ノ命令アル場合ノ外ハ其事務ヲ次席ノ教員ニ引繼グベシ若シ次席以下ノ教員ニ差支アルキハ市町村長ニ引繼グベシ教員轉任休職又ハ退職ノ命ヲ受ケタルキハ事務引繼書ヲ作り學校長ニ引繼クベシ第十一條 學校長及教員族籍住所氏名ノ變換其ノ他身分ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク知事ニ届出ツベシ

第十二條 學校長及教員忌引ノ爲メ缺勤スルトキハ郡市長ニ届出ヅベシ此ノ場合ニ於テハ特別ノ命令アルノ外左ノ日限ヲ以テ除服出仕ヲ命ジタルモノトス

一 父母(養父母)繼父母夫ノ父母亦同シ(祖父母(養祖父母)亦同シ)夫妻ハ七日間
二 其他ノ親族(忌服ヲ受ベキ親族ヲ云フ)ハ三日間

第十三條 學校長及教員私事(父母ノ病氣看護又ハ忌中及年回墓參等)ニ由リ住居ノ地ヲ離レントスルトキハ郡市長ノ許可ヲ受クヘシ若シ事急遽ニ出テ、其ノ許可ヲ待ツ能ハザルトキハ直チニ發足シ即日其理由ヲ郡市長ニ届出ヅベシ

第十四條 學校長及教員疾病ノ爲メ缺勤セントスルトキハ郡市長ニ届出ヅベシ若シ缺勤七日以上ニ及ブトキハ七日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ其届書ヲ差出スヘシ
疾病ノ爲メ轉地療養セントスルトキハ豫メ其ノ場所及日限ヲ定メ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ郡市長ノ許可ヲ受クベシ

第十五條 學校長及教員休暇中校務ニ差支ナキ場合ニ於テ五日以上旅行セントスルトキハ其場所及日限ヲ具シテ郡市長ニ届出ヅベシ

第十六條 學校長及教員職務上必要ノ事由學校參觀又ハ講習會教育會等ニ出船スル場合ニ因リ旅行セントスルトキハ豫メ其目的場所及日限ヲ具シ郡市長ノ許可ヲ受クベシ但旅行日數三日以内ナルトキハ豫メ郡市長ニ届出ツベシ

第十七條 學校長及教員他ノ道廳府縣ニ教員檢定ヲ出願セントスルトキハ豫メ知事ノ許可ヲ受クベシ

第十八條 此ノ細則ニ依リ學校長及教員ヨリ知事ニ差出スヘキ書類ハ郡市町村長ヲ經由スヘク郡長ニ差出スヘキ書類ハ町村長ヲ經由スベシ

第十九條 本細則ハ市町村立幼稚園盲啞學校及小學校ニ類スル各種學校職員ノ職務及服務ニ關シ之ヲ準用ス

第二十條 明治二十八年九月和歌山縣訓令第三百五十三號ハ之ヲ廢止ス
(參照)

○和歌山縣令第七十號
明治二十八年和歌山縣訓令第三百五十三號ハ小學校長及教員職務及服務細則ナリ

市町村立小學校准教員進退ニ關スル規程左ノ通相定ム

明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事 小倉 久

市町村立小學校准教員進退ニ關スル規程

第一條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ當然退職者トス

一、陸海軍現役ニ服シタルトキ

二、戰時事變ニ際シ召集セラレタルトキ

三、當該學校ノ廢セラレタルトキ

前項ニ該當スルモノアルトキハ郡市長ハ直ニ其ノ職名氏名ヲ開申ズベシ

第二條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退職ヲ命ズベシ

一、傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ又ハ身體精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘザルトキ

二、學校編制ノ變更等ニ因リ過員ヲ生ジタルトキ

三、教員養成ヲ目的トスル學校ニ入學スルトキ

四、自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ

五、刑事事件ニ關シ告訴若クハ告發セラレタルトキ

第三條 明治二十七年九月和歌山縣令第四十四號ハ之ヲ廢止ス

(參照)

明治二十七年和歌山縣令第四十四號ハ小學校准教員ノ戰時事變ニ際シ召集ニ應ジタルトキ退職ノ件ナリ

●和歌山縣令第七十一號

小學校兒童出席停止ニ關スル規程左ノ通相定ム
明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事

小倉久

小學校兒童出席停止ニ關スル規程

第一條 小學校長ハ傳染病豫防法第一條ニ掲グル八種傳染病又ハ豫防法ノ施行ヲ必要トスル傳染病ニ罹リ若クハ其ノ疑アル兒童アルトキハ遲滞ナク其ノ出席ヲ停止スベシ

兒童一家中前項ノ傳染病ニ罹リタルモノアルトキ亦同ジ

第二條 麻疹、疥癬等他人ニ傳染ノ虞アル疾病若クハ流行病ニ罹リタル兒童アルトキハ必要ノ期間其ノ出席ヲ停止スルコトヲ得

第三條 小學校長ニ於テ第一條第二條ノ認定上ニ關シ醫師ノ診斷ヲ必要ト認ムルトキハ先ツ學校醫ノ意見ヲ聞クベシ但學校醫ヲ置カザル學校ニ於テハ市町村長ト合議シ開業醫師ヲシテ診斷セシムベシ

第四條 第一條第二條ニ據リ出席ヲ停止セラレタル兒童ニシテ其事故消滅シタルトキハ兒童保護者ヨリ其旨小學校長ニ届出ツベシ

第五條 小學校長ニ於テ前項届出ニヨリ停止ヲ解キタルトキハ直ニ市町村長ニ通報スヘシ

第六條 小學校長ハ性行不良ノ兒童ニシテ他ノ兒童ノ教育ニ妨アリト認メタルモノニ出席ヲ停止シタルトキハ其事由ヲ市町村長ニ通報スベシ其停止ヲ解キタルトキ亦同シ

第七條 本規程第一條第二條ハ私立小學校ニ適用ス
明治二十五年三月和歌山縣令第二十一號ハ之ヲ廢止ス

(参照)

明治二十五年和歌山縣令第二十一號ハ小學校生徒出席停止規則ナリ

○和歌山縣令第七十二號

明治三十二年十月和歌山縣令第六十五號小學校設備規則中左ノ通改正追加ス

明治三十三年九月二十七日

和歌山縣知事

小倉

久

第二條ヲ左ノ通改ム

第二條

體操場ハ分テ屋外體操場及屋內體操場トシ屋外體操場ハ方形若シクハ長方形ニシテ其面積ハ左ノ規定ニ依ルベシ

一、尋常小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百坪以上トシ兒童百人以上ハ一人ニ付一坪以上ノ割合トス

二、高等小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百五十坪以上トシ兒童百人以上ハ一人ニ付一坪半以上ノ割合トス

三、尋常高等小學校ニ於テハ兒童百人未滿ハ百五十坪以上トシ兒童百人以上ハ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童一人ニ付一坪以上高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童二人ニ付一坪半以上ノ割合トス但兒童百人以上ニシテ高等小學校ノ教科ヲ修ムル兒童百人未滿ナル者ハ百五十坪ノ外全校兒童中百人ヲ超セテ兒童二人ニ付一坪以上ノ割合ヲ以テ増スモノトス

四、特別ノ事情アルトキハ第二號及第三號ノ規定中一坪半ヲ一坪マデニ減ズルコトヲ得屋內體操場ハ雨雪ニ堪フベキ設備ヲナスコトヲ要ス

屋内體操場ハ土地ノ情況ニ依リ之ヲ設ケザルコトヲ得
第十條ノ末項ヲ左ノ如ク改ム

尋常高等小學校ニ於テハ前項ニ依リ必要ノ校具ヲ備フベシ
第十三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第十四條本則ノ規定ハ補習科ノ設備ニ關シ之ヲ適用セス

○和歌山縣令第七十三號

幼稚園官立學校其ノ他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校設置廢止ニ關スル規程左ノ通
相定ム

明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事 小倉久

幼稚園官立學校其他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校設置廢止ニ

關スル規程

第一條 幼稚園ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ニ遊園井建物ノ坪數等
ヲ記シタル圖面ヲ添ヘ知事ノ許可ヲ受クベシ

一名 稱

二位 置

三 保育料額

四 休日及每週保育時間數

五 幼兒定員

六 經費收入支出豫算

七基本財産ノ有無及其種別員數

八設立者ノ履歷(私立ニ限ル)

第二條 育陞學校其ノ他小學ニ類スル各種學校及私立小學校ヲ設置セントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ニ校地、校舎、寄宿舎ノ坪數ヲ記シタル圖面ヲ添知事ノ許可ヲ受クベシ

一名 稱

二位 置

三學校ノ種別

四生徒定員并ニ年齡制限

五經費收入支出豫算

六基本財産ノ有無及其種別員數

七設立者ノ履歷(私立ニ限ル)

八學 則

學則ニハ修業年限、學年、學期、休日ニ關スル事項、學科課程、授業時間、授業料、入學料ニ關スル事項、試験ニ關スル事項、入學退學ニ關スル事項、賞罰ニ關スル事項、職員ノ職務ニ關スル事項等ヲ規定スベシ

第三條 第一條及第二條第一項第一號乃至第七號并遊園、建物校地、寄宿舎ノ變更ハ知事ニ開申シ第二條第一項第八號ノ變更ハ更ニ知事ノ許可ヲ受クベシ

第四條 本規程ニ依リ設置ノ許可ヲ得タル幼稚園盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校及
私立小學校ハ許可ノ日ヨリ三ヶ月以内ニ開始スヘキモノトス但特別ノ事情アルトキハ期
限ヲ定メテ猶豫ヲ請フコトヲ得

第五條 幼稚園盲啞學校其他小學校ニ類スル各種學校及私立小學校ニシテ之ヲ廢止セント
スルトキハ市町村立ニアリテハ管理者私立ニアリテハ設立者ヨリ知事ニ開申スヘシ
第六條 前數條ニヨリ知事ノ許可ヲ請ハントスル場合ハ市ニアリテハ市長町村ニアリテハ
郡長ヲ經由スヘシ又私立ニ係ルモノハ市ニアリテハ市長町村ニアリテハ町村長郡長ヲ經
由スヘシ

第七條 明治二十五年三月和歌山縣令第二十三號ハ之ヲ廢止ス
參照

明治二十五年和歌山縣令第二十三號ハ幼稚園、圖書館、盲啞學校及私立小學校ノ設置廢止
ニ關スル規則ナリ

○告 示

○和歌山縣告示第七十七號

左記ノ道路自今公用ヲ廢止ス

明治三十三年九月廿二日

伊都郡笠田村大字高田字蒲五十壹番地通

和歌山縣知事

小 倉

久

一舊大和街道々路敷拾七步

○和歌山縣告示第七十八號

當縣伊都郡花園村大字新子ニ設置シタル同村役場位置ヲ今般同村大字北寺ニ變更セリ

明治三十三年九月廿五日

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣告示第七十九號

度量衡取締主任之證

自第四八七號 至第四八八號

貳葉

但東牟婁郡本宮村長ニ交付ノ分

右紛失ノ旨届出ニ依リ無効トス

明治三十三年九月廿七日

和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣告示第八十號

兵庫縣朝來郡與布土村ニ於テ本月十日午一頭全郡梁瀬村ニ於テ今月十一日午一頭各氣腫疽

ニ罹リ斃死セシ旨全縣ヨリ通知アリタリ

明治三十三年十月一日

和歌山縣知事 小倉久

(明治三十三年) 第三種郵便物認可(每月四日十四日廿四日三回發行)

明治三十三年十月三日印刷(壹頁代價金) 明治三十三年十月四日發行(一厘五毛)

和歌山縣

印刷人 和歌山市九番丁九番地
印刷所 和歌山市十二番丁十三番地 前川初之助
和歌山印刷株式會社

縣報第十八號

明治三十三年十月四日

二十